

## JIS 案コメントシート

No.	規格番号	委員名	行番号 (例. 17)	箇条 細分箇条 (例. 3.1)	段落/ 図 / 表 (例. 図 1)	コメントの種類 ※	コメント	変更提案	検討結果・対応案
1	C 6710	渋谷隆 1	62	規格名称		GE	適用範囲に記載されているとおり、この規格は発振器の試験方法及び一般的要求事項を規定しています。	規格名称を“発振器—通則及び試験方法”に変更したらどうでしょうか。	METI からも指摘があり、「発振器の通則及び試験方法」とする予定です。先にご承認いただいた C6701 及び C6703 についても同様に対応します。
2	C 6710	渋谷隆 2	64	規格体系		GE	対応国際規格が総則及び3つの測定方法です。IEC の改訂に合わせた JIS 改正の容易性、改訂/改正時期の整合を図るため、JIS を IEC に合わせて分割すると便利です。	次回改正時に JIS を分割制定することを検討したらどうでしょうか。	改正する側の容易さより、利用者の利便性を考慮し、一体化しましたが、次回改正時に検討します。
3	C 6710	渋谷隆 3	190	3.1		ED	JIS Z 8301 に前置き文の記載例があります。	ここにある4つの規格を盛り込み、「この規格で用いる主な用語及び定義は、次によるほか、JIS C 0617-2, JIS C 0617-3, JIS C 0617-4, 及び JIS Z 8000-1 による。」とし、IEC 規格は注記で記載するなどしたらどうでしょうか。	3.2 の前置きに「この規格で用いる主な用語及び定義は、次による」としてありますので、このままにさせていただき、次回改正時に、IEC への構成変更提案含め、記載の変更を検討します。
4	C6710	平本俊 郎 1	222				222 行目：MEMS が”electrostatic micro electro mechanical system”の略ということになっていますが、”electrostatic”が入ってよいのかご検討ください。また、221 行目も日本語と英語が一致していない気がしますので、ご確認ください。		221 行と 222 行の“electrostatic”を削除します。
5	C 6710	渋谷隆 4	236 244 248	3.2.9 3.2.10.1 3.2.10.2		ED	定義は文末には句点はつけないと規定されています。第2文は定義ではなく性質を説明しています。	第2文を注釈に移動したらどうでしょうか。	3.2.9、3.2.10.1 及び 3.2.10.2 の定義文の2文節は注釈にします。
6	C 6710	渋谷隆 5	253	図 1		GE	“○—”が入出力ポートを示すのでしょうか。	記号説明 (ISO/IEC でいう Key) で説明したらどうでしょうか。	記号説明を追加します。
7	C 6710	渋谷隆 6	278	3.2.16		GE	偏差は正及び負の両者がありえるのでしょうか	基準値に対するずれの場合、正負の両者があるので、周波数が高い場合は正、低い場合は負であることを記載したらどうでしょうか。	基準値のずれに正負共にあることを利用者は理解できると思われませんが、次回改正時に変更を検討します。

※コメントの種類

GE = general(一般的)

TE = technical (技術的/専門的)

ED = editorial (JIS 用語/様式)

# JIS 案コメントシート

No.	規格番号	委員名	行番号 (例. 17)	箇条 細分箇条 (例. 3.1)	段落/ 図 / 表 (例. 図 1)	コメントの種類 ※	コメント	変更提案	検討結果・対応案
8	C6710	波多腰 1	362 365	3.2.27		ED	$v(t)$ の $v$ ( $v$ のイタリック?) がギリシャ文字の $\nu$ (ニュー) に見える。	フォントを変更してはどうか。	ご指摘のように文字の $\nu$ (ニュー) に見えてしまいますが、JISの定形に従って Times New Roman 小文字の $\nu$ のイタリック体で表記しておりますので、現状のままにさせていただきますと思います。
9	C6710	波多腰 2	365	3.2.27		ED	$Re$ は関数? → 立体に	$Re, Re \rightarrow Re$	立体に修正します。
10	C6710	波多腰 3	374	3.2.27		ED	$1/2\pi \rightarrow 1/(2\pi)$	$1/2\pi \rightarrow 1/(2\pi)$	$1/(2\pi)$ に修正します。
11	C6710	波多腰 4	380~ 386	3.2.27		ED	変数はイタリック	$\alpha \rightarrow \alpha$	イタリックに修正します。
12	C6710	波多腰 5	422	3.2.30		ED	$e(n)$ の説明がない。	タイムインターバルエラーは、 → タイムインターバルエラー $e(n)$ は、	ご提案通りとします。 タイムインターバルエラー $e(n)$ は、
13	C 6710	渋谷隆 7	429	3.2.31		GE	「電気通信業界で一般的に使用されている」は定義に不適切な表現ではないでしょうか。	具体的な表現に変更できないでしょうか。	423行目 ⇒時間偏差の尺度 429行目 ⇒最大時間偏差の尺度 に変更します。
14	C6710	波多腰 6	432	3.2.31		ED	$e_m(n)$ の説明がない。	最大タイムインターバルエラーは、 → 最大タイムインターバルエラー $e_m(n)$ は、	ご提案通りとします。 最大タイムインターバルエラー $e_m(n)$ は
15	C6710	波多腰 7	434	3.2.31		ED	添字 $m$ はイタリックではなく立体では?	$e_m(n) \rightarrow e_m(n)$	立体に修正します。
16	C6710	波多腰 8	434	3.2.31		ED	MAX, MIN が関数だとすると、イタリックではなく立体	MAX → MAX MIN → MIN	立体に修正します。
17	C6710	波多腰 9	484	3.2.36	図 6	ED	図 6 横軸ラベルの $V$ が単位であることがわかりにくい (変数にも見える)	( $V$ ) のように( )をつけたらどうか。 縦軸の Hz も	ご提案通り ( $V$ ) , (Hz) とします。

※コメントの種類

GE = general(一般的)

TE = technical (技術的/専門的)

ED = editorial (JIS 用語/様式)

# JIS 案コメントシート

No.	規格番号	委員名	行番号 (例. 17)	箇条 細分箇条 (例. 3.1)	段落/ 図 / 表 (例. 図 1)	コメントの種類 ※	コメント	変更提案	検討結果・対応案
18	C 6710	渋谷隆 8	505 513	3.2.40 3.2.41		ED	“立上り”は“たちのぼり”と読めます。 “立ち上がり”を含む JIS は 199 件あり、“立上り”を含む JIS は 101 件です。 “立下り”は“たちくだり”と読めます。 JIS 原案作成のための手引き第 19 版には送り仮名の記載方法が説明されており、それに従うと“立上り”ですが、読み間違いを防ぐには、“立ち上がり”とするのが適当であることは了解されていると認識しています。	“立ち上がり”及び“立ち下がり”に変更したらどうでしょうか。	初出時にだけ立上り（たちあがり）、立下り（たちさがり）と読み仮名を括弧で追加します。
19	C 6710	渋谷隆 9	543	3.2.45		GE	定義が二つ以上の条件で異なる場合、山括弧 <> で場合を分けるよう、JISZ8301, 16.5.5 に規定されています。	山括弧を用いて場合分けしたらどうでしょうか。	IEC 規格と同じ表現になっており、山括弧を使い二つに分けるのが難しいため再検討し、次回改正以降対応します。
20	C 6710	渋谷隆 10	559	3.2.46		ED	図 9 参照は、定義ではありません。	注釈で図 9 を引用したらどうでしょうか。	559 行目の”（図 9 参照）”を削除します。
21	C6710	波多腰 10	564 565	3.2.46		ED	添字 C は立体?	$f_c \rightarrow f_c$	立体に修正します。
22	C 6710	渋谷隆 11	571	3.2.46		ED	rms の full term が記載されていません。	初出時に二乗和平方根（root mean square, rms）の表現が必要ではないでしょうか。	実効値により明確であるのでこのままとします。
23	C 6710	渋谷隆 12	585	図 12		ED	NRZ の full term が記載されていません。	Non-return-zero（NRZ）の記号説明が必要ではないでしょうか。	”NRZ 信号”⇒”NRZ（Non-return-to-zero）信号” に変更します。
24	C 6710	渋谷隆 13	589	3.2.46		ED	ピークピーク値は、peak-to-peak で“ピークツーピーク”ではないでしょうか。	ピークツーピークに変更することを検討したらどうでしょうか。	文書内で“ピークピーク”の表現を多用している為、このままとします。
25	C 6710	渋谷隆 14	613	4.1		ED	ぶら下がり段落になっています。	ぶら下がり段落を解消するように修正をお願いします。	ご指摘のようにぶら下がり段落になっておりますが、「個別仕様書に規定がない場合には、選択することが望ましい定格及び特性の推奨値を、4.1.1～4.1.6 に示す。」に修正し、次回改正時に、IEC への構成変更提案含め、記載の変更を検討します。

※コメントの種類

GE = general(一般的)

TE = technical (技術的/専門的)

ED = editorial (JIS 用語/様式)

# JIS 案コメントシート

No.	規格番号	委員名	行番号 (例. 17)	箇条 細分箇条 (例. 3.1)	段落/ 図 / 表 (例. 図 1)	コメントの種類 ※	コメント	変更提案	検討結果・対応案
26	C 6710	渋谷隆 15	653	4.2.2		ED	ESD の full term が記載されていません。	“Electrostatic discharge (ESD)”とするよう検討をお願いします。	“Electrostatic discharge (ESD)”に修正します。
27	C 6710	渋谷隆 16	671	5.5		ED	“標準 IEC 公開手順“では規格番号及び箇条が特定できません。	IEC 規格番号及び箇条を特定するように検討願います。	最終的な構成部品は、IEC の品種別規格によって保証された部品を使用し、これらは標準 IEC 公開手順を使用することによって生産する。⇒発振器が、JIS に適合した部品で構成されている場合には、この規格を適用し製造する。 に変更します。
28	C 6710	渋谷隆 17	727	5.10		GE	“この規格”だけでなく、箇条番号を指定しないと分かりにくいのでしょうか。	箇条番号を指定するよう検討をお願いします。	「この規格」を「箇条 6」に修正します。
29	C 6710	渋谷隆 18	730	5.11		ED	スクリーニング条件及び判定基準が個別規格の規定によるのではないのでしょうか。	スクリーニング条件及び判定基準を明記するよう検討をお願いします。	個別規格は、使用者と製造者で定めた仕様書のことでありますので、ここに記載は出来ません。この規格内の「個別規格」を全て「個別仕様書」に修正します。先にご承認いただいた C6701 及び C6703 についても同様に対応します。
30	C 6710	渋谷隆 19	743	5.13		ED	“まとめなければならない”とありますが、使用者に提出しなくても良いのでしょうか。	必要があれば、使用者に提出しなければならない、と追加する検討をお願いします。	まとめなければならない⇒まとめ、提出し なければならない と変更します。
31	C 6710	渋谷隆 20	745	5.14		ED	電氣的試験の定義が不明瞭のため、箇条 6.5 を参照する記載を追加したらどうでしょうか。	箇条 6.5 を追記する検討をお願いします。	「...出荷する前に 6.5 の電氣的試験の再検査を行う。」に修正します。
32	C 6710	渋谷隆 21	747	5.15		ED	出荷が 5 年間有効であるとは、どの時点が起点になるのでしょうか、	起点を明記するよう検討をお願いします。	出荷は⇒出荷した製品は、出荷日を起点に に変更します。
33	C 6710	渋谷隆 22	754	6		GE	試験と測定とは定義が異なるのでしょうか。物理量を得ることを測定といい、合否判定を含む場合は試験、又は検査というのでしょうか。	試験、測定、検査の用語の再確認をお願いします。	コメントの通りですが、今回はこのままとさせていただきます、再検討し、次回改正以降対応します。

※コメントの種類

GE = general(一般的)

TE = technical (技術的/専門的)

ED = editorial (JIS 用語/様式)

# JIS 案コメントシート

No.	規格番号	委員名	行番号 (例. 17)	箇条 細分箇条 (例. 3.1)	段落/ 図 / 表 (例. 図 1)	コメントの種類 ※	コメント	変更提案	検討結果・対応案
34	C 6710	渋谷隆 23	759	6.2,1		GE	JISC 60068-1:2016 の 4.3 を指定していますが、箇条番号を省略し、“標準大気条件”とすることで箇条番号及び発行年を削除することができます。その場合、引用規格が改正されても影響を受けません。	発行年及び箇条番号を削除することを検討願います。	発行年/項目番号がある方が、リンクを追いやすいのでこのままとしますが、ご指摘の点について次回改正時に記載の変更を検討します。
35	C 6710	渋谷隆 24	783 786	6.2.4 6.2.5		GE	“測定精度”の用語ではなく、“測定不確かさ”を用いることが一般的になっています。	測定不確かさの用語に変更することを検討願います。	今回は“測定精度”のままとさせていただき、再検討し、次回改正以降対応します。
36	C 6710	渋谷隆 25	787	6.2.5		GE	測定誤差の定義は明確でしょうか。確度、再現性、ばらつき、真値、測定値など JISZ8404 規格群又は ISO/IEC Guide 98-3 などに関連する用語の説明があります。	誤差を別の用語に置き換える検討をお願いします。	今回は、“誤差”のままとさせていただき、再検討し、次回改正以降対応します。
37	C 6710	渋谷隆 26	795	6.2.6.2		ED	IEC 規格の具体的な箇条を指定していないので、発行年の情報は記載する必要がないと思います。	発行年を削除することを検討願います。	発行年を削除します。
38	C 6710	渋谷隆 27	801 804 807 812	6.3		ED	目視検査及び目視試験の二つの異なる用語が用いられていますが意味は異なるのでしょうか。Inspection と test の違いでしょうか。	意味が異なる場合、定義を明確化することを検討願います。意味が同じ場合、用語を統一化願います。	804,807,812 行目を”目視検査”に変更します。
39	C 6710	渋谷隆 28	801	6.3		GE	目視試験 A～C の適用は個別規格の指定によるのでしょうか。	個別規格の指定によるなどの記載又は記載している箇条の参照が必要ではないでしょうか。	「個別規格」を「個別仕様書」に修正します。
40	C 6710	渋谷隆 29	815	6.4		GE	箇条名が“寸法及び測定手順”ですが、測定手順が記載されていません。	箇条名を規定内容に合わせるように変更することを検討願います。	「6.4 寸法」に修正します。
41	C 6710	渋谷隆 30	820	6.5		GE	6.5.1～6.5.33 のそれぞれの試験の試験順序の規定がありませんが、それぞれの試験は順序を問わないのでしょうか。	それぞれの試験の順序が問わないことを規定する必要性を検討願います。	順序は問いませんので、「順序は問わない。」の一文を追加します。
42	C 6710	渋谷隆 31	834	6.5.2		GE	“規定の検査前処理”は個別規格に規定されているのでしょうか。	個別規格のよることを記載するよう検討願います。	規定の検査前処理⇒個別仕様書による試験前処理 と修正いたします。
43	C 6710	渋谷隆 32	834	6.5.2		ED	検査前処理のあとに試験を行うのでしょうか。検査と試験が混同されているように思います。	検査及び試験の用語を統一又は区別するように御願います。	規定の検査前処理⇒個別仕様書による試験前処理 と修正いたします。

※コメントの種類

GE = general(一般的)

TE = technical (技術的/専門的)

ED = editorial (JIS 用語/様式)

# JIS 案コメントシート

No.	規格番号	委員名	行番号 (例. 17)	箇条 細分箇条 (例. 3.1)	段落/ 図 / 表 (例. 図 1)	コメントの種類 ※	コメント	変更提案	検討結果・対応案
44	C 6710	渋谷隆 33	837	6.5.2		GE	発振器の動作を確かめる測定とは具体的には出力周波数の測定でしょうか。	具体的な試験項目を記載したらどうでしょうか。	発振器の動作を確かめる測定をする⇒発振器の個別仕様書を満足することを確認するに変更します。
45	C 6710	渋谷隆 34	850	6.5.3.2		ED	恒温槽及び試験槽の二つの用語が用いられています。区別しているのでしょうか。	恒温槽及び試験槽を区別していない場合、用語の統一を検討願います。区別している場合、適切に用いるよう確認をお願いします。	図 17にあるように、区別します。
46	C 6710	渋谷隆 35	852 1034	6.5.3.2 6.5.10		ED	“個別規格に規定の温度“を”個別規格に規定する温度“の方が日本語として適切だと思います。	“個別規格に規定する温度“に変更することを検討願います。	「個別仕様書に規定する温度」に修正します。
47	C 6710	渋谷隆 36	857	6.5.3.2		ED	“動作温度で温度を安定にする。”は、発振器の動作温度になるように恒温槽の温度を安定化するとの意味でしょうか。	意味が分かりやすいように表現を変更することを検討願います。	“動作温度で温度を安定にする。”を“発振器の動作温度になるように恒温槽の温度を安定化する。”に変更します。
48	C 6710	渋谷隆 37	858	6.5.3.2		ED	“試験槽の熱時定数は、測定対象の恒温槽と、発振器との組合せの熱時定数よりも十分に小さくしなければならない”は、“試験に用いる恒温槽の熱時定数は、測定対象の発振器の熱時定数と組み合わせた場合でも影響を受けないう十分小さくしなければならない。”の意味でしょうか。	意味が分かりやすいように表現を変更することを検討願います。	“試験に用いる恒温槽の熱時定数は、測定対象の発振器の熱時定数と組み合わせた場合でも影響を受けないう十分小さくしなければならない。”に修正します。 2つの熱源（恒温槽/試験槽）があり、時定数を”恒温槽>試験槽”とする指示です。
49	C 6710	渋谷隆 38	868	6.5.4		GE	“精度”が用いられています。	他の用語に変更するよう検討を御願います。	今回は“精度”のままとさせていただき、再検討し、次回改正以降対応します。
50	C 6710	渋谷隆 39	875	6.5.4.2		ED	精度が高い、高精度とは、測定不確かさ又は測定確度（真値と測定値の差）が小さいことを意味しますが、ここで、“以下”とは数字が小さい、いわゆる高精度を意味していますか。誤解を生む可能性があります。	誤解を生じない表現に変更することを検討願います。	“精度が $1 \times 10^{-8}$ 以下の高精度の場合の測定”に変更します。
51	C 6710	渋谷隆 40	905	図 20		GE	温度センサ部は被試験発振器に極力近い位置に設置するとの記載が必要だと思います。	温度センサ部の位置の記載を追加することを検討願います。	“温度センサ部は被試験発振器に極力近い位置に設置する。”を追加します。

※コメントの種類

GE = general(一般的)

TE = technical (技術的/専門的)

ED = editorial (JIS 用語/様式)

# JIS 案コメントシート

No.	規格番号	委員名	行番号 (例. 17)	箇条 細分箇条 (例. 3.1)	段落/ 図 / 表 (例. 図 1)	コメントの種類 ※	コメント	変更提案	検討結果・対応案
52	C 6710	渋谷隆 41	915	6.5.5.2		ED	“を確認しながら、温度を上げるか”は、次の 又はとの並列のため、読点“、”を削除するの が良いのではないのでしょうか。	読点を削除することを検討願います。	“、”を削除し、「...を確認しながら温度を 上げるか、」に修正します。
53	C 6710	渋谷隆 42	915	6.5.5.2		GE	0.5°C/分より温度変化が小さいことを意図する のであれば、0.5°C/分以下とするのが良いの ではないのでしょうか。	0.5°C/分以下とすることを検討願います。	今回はこのままとさせていただき、許容公 差の追加含め再検討し、次回改正以降対応 します。
54	C 6710	渋谷隆 43	928	6.5.7		ED	“規定公称値”の用語はなく、“公称値”ではな いのでしょうか。又は“規定する公称値”とする のが良いのではないのでしょうか。	公称値に変更することを検討願います。	“規定する公称値”に変更します。
55	C 6710	渋谷隆 44	930	6.5.7		ED	“規定の安定化の時間を許容する。”は許容事 項ではなく要求事項とするのが良いのではない のでしょうか。“許容する”を“確保する”など の方が良いと思います。	“許容する”を“確保する”などに変更するこ とを検討願います。	“許容する”⇒“確保する” に変更します。
56	C 6710	渋谷隆 45	951	図 21		GE	低温度から高温への変化だけが記載されて いますが、高温から低温への変化の測定は ないのでしょうか。また高い場合に周波数 が高いこと事例が記載されていますが、高温 で低周波数の場合も記載が必要ではないで しょうか。	高温から低温の場合、周波数が低くな る場合の事例も追記の必要性を検討願 います。	例として記載しているのでこのままで明確 と考えます。
57	C 6710	渋谷隆 46	953	6.5.8.3		GE	アンダーシュートの規定はないのでし ょうか。	アンダーシュートの規定の必要性を検討願 います。	今回はこのままとさせていただき、次回改 正時に、IEC への記載変更提案含め、記載 の変更を検討します。
58	C6710	波多腰 11	964	6.5.9.1		ED	Q は変数?	Q → Q	斜体にします。 Q
59	C6710	諏訪 1	975 990 992	6.5.9.1	図 22 図 23 図 24	Ed	記号説明があった方がわかりやすいのでは ないのでしょうか。		一般的な回路図なので、このままでわか ると思います。

※コメントの種類

GE = general(一般的)

TE = technical (技術的/専門的)

ED = editorial (JIS 用語/様式)

# JIS 案コメントシート

No.	規格番号	委員名	行番号 (例. 17)	箇条 細分箇条 (例. 3.1)	段落/ 図 / 表 (例. 図 1)	コメントの種類 ※	コメント	変更提案	検討結果・対応案
60	C 6710	渋谷隆 47	979	6.5.9.2		ED	“発振が確実に立ち上がるかどうかを決めるために”は、決めるためではなく、確認する、判断する、判定する又は見極めるためでしょうか。	適切な表現に変更することを検討願います。	決める⇒判断する に変更します。
61	C 6710	渋谷隆 48	980 991	6.5.9.2 図 23		ED	図 23 の電源はプログラマブル電源でしょうか。そうであれば、979 行の図 23 に示す起動動作試験回路に接続する。”と“プログラマブル電源に接続する”は冗長表現ではないでしょうか。	図 23 の電源をプログラマブル電源に変更し、980 行のプログラマブル電源に接続する、を削除したらどうでしょうか。	図 23 の電源をプログラマブル電源に変更し、980 行目はそのままとします。  (他箇所、差異がある場合は同じにするよう指摘がある為)
62	C 6710	渋谷隆 49	981	6.5.9.2		ED	“に適切にセットする。”の目的語がないので、何を適切にセットするかが不明瞭だと思います。	オシロスコープの電圧及び時間の表示範囲を適切にセットすると記載したらどうでしょうか。	980 行目 “その時間軸”⇒”オシロスコープの時間軸を”  981 行目 “セットする”⇒”設定する” に変更します。
63	C 6710	渋谷隆 50	983	6.5.9.2		ED	“少なくとも 100 倍～1 000 倍”の表現は不適切ではないでしょうか。“少なくとも”はある値以上又はある値超を示す場合に用いるため、範囲を指定する場合、“少なくとも”は不要だと思います。	“少なくとも“を削除する、又は“～1 000 倍”を削除することを検討願います。	“少なくとも“を削除します。
64	C 6710	渋谷隆 51	1010	6.5.9.3 注記 2		ED	“測定の前に、内部の発振回路のブロッキングコンデンサが、放電されていることを確認する。”は要求事項に見えます。注記には要求事項を記載できません。	注記から本文に移動するか、それとも“確認することが一般的である。”などの事実を記載するよう変更を検討願います。	1017 行目に記載があるので、1010,1011 行目を削除します。
65	C 6710	渋谷隆 52	1018	6.5.9.3		ED	“振動子”は“発振器”のことでしょうか。	振動子を発振器に変更することを検討願います。	発振器の内部に使用される、振動子の Q 値について述べていますので、次のように修正します。  「特に、発振器に使用している振動子の Q 値が高い場合、起動時間が変わらないことを確認する。」



# JIS 案コメントシート

No.	規格番号	委員名	行番号 (例. 17)	箇条 細分箇条 (例. 3.1)	段落/ 図 / 表 (例. 図 1)	コメントの種類 ※	コメント	変更提案	検討結果・対応案
66	C 6710	渋谷隆 53	1028	図 25		ED	図の題名に定義は不適切ではないでしょうか。定義は、箇条 3 でしか規定できません。JIS Z 8301 では用語及び定義は箇条 3 にだけ規定するとあります。	適切な題名にするよう変更を検討願います。	図 25 の図題を、「発振起動時間の例」に修正します。
67	C 6710	渋谷隆 54	1034	6.5.10		ED	“周波数測定を用いる。”、は“周波数測定方法”又は“周波数測定手順”でしょうか。	“方法”又は“手順”を追記するよう検討願います。	「...6.5.4 の出力周波数の測定方法を用いる。」に修正します。
68	C 6710	渋谷隆 55	1042	6.5.11		ED	“調整機能を測定する”。機能は測定するものではなく、調整範囲、調整再現性などの物理量を測定するのではないのでしょうか。	調整機能を調整範囲に変更することを検討願います。	“調整能力を測定する”に修正します。
69	C 6710	渋谷隆 56	1083	6.5.15		ED	図 33 の題名と“代表的周波数スペクトル”が一致していません。	“代表的な周波数スペクトル”に変更したらどうでしょうか。	図 33 の図題を「代表的な周波数スペクトル」に修正します。
70	C6710	波多腰 12	1101	6.5.15	図 33	ED	図 33b)の左下の数字 1 の意味が不明		1 は削除します。
71	C6710	波多腰 13	1101	6.5.15	図 33	ED	図 33b)中の $d_2 \sim d_5$ の添字は立体		立体に修正します。
72	C 6710	渋谷隆 57	1102	図 33		ED	副題 b)の左上に“1”があります。	削除する必要があると思います。	「1」を削除します。
73	C 6710	渋谷隆 58	1109	6.5.16.2		ED	$V_{IH\ min}$ 、 $V_{IL\ max}$ の下付き 1/4 文字の大きさが統一されていません。	文字のフォントを統一化するよう検討をお願いします。	フォントを調整します。
74	C6710	諏訪 2	1191	6.5.21	図 37	Ed	記号説明に数式の記載があるが、この図 37 中にはこの式の記載がない。	図外に説明をしたらいかがでしょうか？または注又は注記で入れるなど。	図中の基準電圧 V の説明ですので、このままとします。
75	C 6710	渋谷隆 59	1196	6.5.22.1		GE	変調度が 1.0 の場合がありますが、不都合はないでしょうか。	変調度が 1.0 の場合（完全 ON/OFF の場合）を記載することを検討願います。	変調度が 1.0 の場合は記載しません。
76	C 6710	渋谷隆 60	1205	図 39		ED	x 及び y を記号説明で追加したらどうでしょうか。	x 及び y を記号説明で追加したらどうでしょうか。	1197 行目”波形の x（変調出力最小振幅）及び y（変調出力最大振幅）”に変更します。
77	C 6710	渋谷隆 61	1212	6.5.22.1		ED	“スペクトラムアナライザと置き換える。”の“と”を“に”にする方が良いと思います。	“スペクトラムアナライザに置き換える。”に変更したらどうでしょうか。	「スペクトラムアナライザに置き換える。」に修正します。

※コメントの種類

GE = general(一般的)

TE = technical (技術的/専門的)

ED = editorial (JIS 用語/様式)

# JIS 案コメントシート

No.	規格 番号	委員名	行番号 (例. 17)	箇条 細分箇条 (例. 3.1)	段落/ 図 / 表 (例. 図 1)	コメン トの種 類 ※	コメント	変更提案	検討結果・対応案
78	C6710	諏訪 3	1215	6.5.22.1	図 40	Ed	記号説明 ここで・・・  “ここで”は必要でしょうか？式の説明には用 いているものである。	“ここで”を削除	“ここで”を削除します。
79	C 6710	渋谷隆 62	1216 1253	図 40 図 42		ED	縦軸の説明がありません。	縦軸の説明 [強度 (dB)] を追記願いま す。	今回はこのままとさせていただき、次回改 正時に、IEC への記載変更提案含め、記載 の変更を検討します。
80	C 6710	渋谷隆 63	1242	6.5.22.3		ED	“スペクトラムアナライザを調整する”。スペ クトラムアナライザの表示周波数範囲を法制 する、でしょうか。	“表示する周波数範囲”を追記することを見 討願います。	“スペクトラムアナライザの表示する周波 数範囲などを調整する。”に修正します。
81	C 6710	渋谷隆 64	1265	6.5.22.4		ED	この式が意味することが明記されていま せん。	“振幅変調周波数応答は次の式で計算され る。”などを追記するよう御願います。	6.5.22.3 項からの継続説明となっており、 6.5.22.3 項に記載済みです。
82	C 6710	渋谷隆 65	1289	6.5.22.6		ED	“次の式から算出する。”は、“次の式をも用い て算出する。”、“次の式によって算出する。” 又は“次の式で算出する。”の方が適切だと思 います。	適切な表現に変更を検討願います。	「次の式によって算出する。」に修正しま す。
83	C 6710	渋谷隆 66	1295	6.5.22.7		ED	箇条名は“寄生周波数変調偏移”と“偏移”を付 ける方が良いのではないのでしょうか。	箇条名に“偏移”を付けることを見 討願います。	”寄生周波数変調偏移” に変更します。
84	C 6710	渋谷隆 67	1302 1313	6.5.23.1		GE	試験 A 及び試験 B を適用する範囲が最大周波 数偏移で分けられています。100 Hz ちょう どの場合は、どちらの試験を用いるのでしょ うか。	以上及び未満、超及び以下と分けることを見 討願います。	1313 行目 試験 B を”100Hz 未満”としま す。
85	C 6710	渋谷隆 68	1309	図 46		ED	図の題名 (FM 偏移測定) と箇条名 (周波数 変調偏移) が一致していません。	図の題名を周波数変調偏移に変更するか、 箇条名に (FM 偏移特性) を追記するこ とを見討願います。	1309 行目を”周波数変調偏移測定” 1340 行目を”周波数変調感度” に変更します。
86	C 6710	渋谷隆 69	1328	6.5.23.1 注記 3		ED	“ミキサを使用して低い周波数に変換する。” は要求事項でしょうか。要求事項は注記には 記載できません。	注記から本文に移動する又は事実を説明す る表現に変更することを見討願います。	注記 3 を、1325 行の最後の「最大限の注意 を払う。」の後に移動します。

※コメントの種類

GE = general(一般的)

TE = technical (技術的/専門的)

ED = editorial (JIS 用語/様式)

# JIS 案コメントシート

No.	規格番号	委員名	行番号 (例. 17)	箇条 細分箇条 (例. 3.1)	段落/ 図 / 表 (例. 図 1)	コメントの種類 ※	コメント	変更提案	検討結果・対応案
87	C 6710	渋谷隆 70	1332	6.5.23.2		ED	“オシロスコープ又は電子電圧計で測定して”の目的語がありません。何を測定するのでしょうか。	目的語を追加することを検討願います。	”変調入力レベルをオシロスコープ又は電子電圧計で測定し、規定振幅に”と変更します。
88	C6710	波多腰 14	1339	6.5.23.2	図 47	ED	●が線の途中にある。	● → 分岐点に	●を分岐点に移動します。
89	C 6710	渋谷隆 71	1360	6.5.23.4		ED	箇条名と測定パラメータが合っていません。	箇条名を“FM 変調周波数感度”に変更することを検討願います。	今回はこのままとさせていただきます、次回改正時に、IEC への記載変更提案含め、記載の変更を検討します。
90	C 6710	渋谷隆 72	1362	6.5.23.4		ED	“変調感度を測定して、変調感度の変化量”変調感度の変化量を測定するのではないのでしょうか。変調感度又は変調特性は、変調感度の変化量で表すのではないのでしょうか。	測定する物理量（パラメータ）を適切に表現するよう検討願います。	周波数変調感度を複数の周波数で測定した特性を表すので、このままとします。
91	C 6710	渋谷隆 73	1379	6.5.25.1		ED	雑音をラジアンで表現するのであれば、90度は $\pi/2$ とすると整合できると思います。	90度 ( $\pi/2$ ) とするなどの検討をお願いします。	“90度 ( $\pi/2$ ) ”に修正します。
92	C 6710	渋谷隆 74	1394	6.5.25.2		ED	X-Y レコーダは用いられているのでしょうか。ストレージオシロスコープ又はパーソナルコンピュータなどで代用している場合が多いのではないのでしょうか。	X-Y レコーダ以外の機器の情報の追加を検討願います。	“X-Y レコーダなど”に修正します。
93	C 6710	渋谷隆 75	1401	図 49		ED	SSB の full term がありません。6.5.25 の箇条題名に含める必要があるように思います。	Single-sideband (SSB) と記載し、箇条題名にも反映させるよう検討願います。	”図 49—Single-sideband (SSB) 位相雑音測定の試験回路”とします。
94	C 6710	渋谷隆 76	1433	図 50		ED	横軸及び縦軸の指標が記載されていません。	周波数及び強度（対数表示）を追記することを検討願います。	今回はこのままとさせていただきます、次回改正時に、IEC への記載変更提案含め、記載の変更を検討します。
95	C 6710	渋谷隆 77	1449	6.5.28.3		ED	“約 70 dB～90 dB”の“約”は必要でしょうか。	“約”を削除することを検討願います。	「約」を削除します。
96	C 6710	渋谷隆 78	1467	6.5.29.3		ED	“測定精度を落とさない”は口語的表現に見えます。	測定不確かさを用い、測定不確かさを増加させるなどの表現の変更を検討願います。	このままの方が使用者は明確である為、変更せずをお願いします。
97	C 6710	渋谷隆 79	1493 1513 1531	6.5.31.1		ED	“よい安定度”。規格文書に“よい”“わるい”は用いない方が良くと思います。	不安程度が小さいなどに変更することを検討願います。	すべて“高い安定度”に変更します
98	C 6710	渋谷隆 80	1496	6.5.31.1		ED	“仮定される。”。JIS では極力能動態を用いることを推奨しています。	“仮定している”などに変更する検討をお願いします。	「仮定している。」に修正します。

※コメントの種類

GE = general(一般的)

TE = technical (技術的/専門的)

ED = editorial (JIS 用語/様式)

# JIS 案コメントシート

No.	規格番号	委員名	行番号 (例. 17)	箇条 細分箇条 (例. 3.1)	段落/ 図 / 表 (例. 図 1)	コメントの種類 ※	コメント	変更提案	検討結果・対応案
99	C 6710	渋谷隆 81	1505	6.5.31.1		ED	“この場合”とは“方法 1 では”の意味でしょうか。	具体的に記載することを検討願います。	図 52 を b) 方法 2 の直前に移動します。 よって、次のようにつながります。 a) 方法 1 2 個の発振器の平均周波数がほぼ等しい場合 図 52 に示すように、2 個の発振器を接続する。 この場合,... となります。
100	C 6710	渋谷隆 82	1509	6.5.31.1		ED	コンピュータは、図 52 の計算機と同一でしょうか。	計算機とコンピュータの表現を統一するよう検討をお願いします。	図 52 を”コンピュータ”に変更します。
101	C 6710	渋谷隆 83	1513	6.5.31.1 注記		ED	“事実上”は不要ではないでしょうか。	削除を検討願います。	「事実上」を削除します。
102	C 6710	渋谷隆 84	1549	6.5.31.1		ED	“現代の”は規格文書では用いない方が良いと思います。現代の範囲が明治大正昭和平成令和のどの時代まで有効なのかが分かりません。	“2020 年時点で商用化されている”など具体的な表現に修正すること検討願います。	「2020 年時点で商用化されている」に修正します。
103	C 6710	渋谷隆 85	1555	6.5.31.1		ED	式の関数（正弦）は、斜め字ではなく、立字が適当ではないでしょうか。	立字にするように変更を検討願います。	立体にします。 $sin \Rightarrow \sin$
104	C 6710	渋谷隆 86	1565	6.5.31.2		ED	本文では“狭帯域水晶フィルタ”と記載されています。	箇条題名を“狭帯域水晶フィルタ”に変更するよう検討願います。	“狭帯域水晶フィルタ”に変更します。
105	C 6710	渋谷隆 87	1569	6.5.31.2		ED	“より効果を出すために、”は不適当な表現だと思います。	削除することを検討願います。	“より効果を出すために、”を削除します。
106	C 6710	渋谷隆 88	1577	6.5.31.3.1		ED	“高い安定度”は、不安程度が小さい意味でしょうか。	“よい安定度”の表現の変更も含めて検討願います。	”高い安定度”で明確ですので、このままでお願いします。
107	C 6710	渋谷隆 89	1616	6.5.32.1		ED	“国際的な規定”とは何でしょうか。CISPR 又は IEC 61000 規格群のことでしょうか。	具体的に明記できるかを検討願います。	”特に規定がない場合には”に変更します。

※コメントの種類

GE = general(一般的)

TE = technical (技術的/専門的)

ED = editorial (JIS 用語/様式)

# JIS 案コメントシート

No.	規格番号	委員名	行番号 (例. 17)	箇条 細分箇条 (例. 3.1)	段落/ 図 / 表 (例. 図 1)	コメントの種類 ※	コメント	変更提案	検討結果・対応案
108	C 6710	渋谷隆 90	1620	図 58		GE	電波暗室に関する規格を引用したらどうでしょうか。	電波暗室に関する規格を引用したらどうでしょうか。	今回はこのままとさせていただきます、次回改正時に記載の変更を検討します。
109	C 6710	渋谷隆 91	1629	6.5.32.2		ED	“0.9 m 以上離れない”よりも直接的な表現の方が分かりやすいと思います。	“距離を 0.9 m 未満とする“などの表現を用いることを検討願います。	“接地板の端から 0.9 m 未満の距離で”に変更します。
110	C 6710	渋谷隆 92	1684	6.5.33.2		ED	JIS に“悪い”の表現は不適切です。	“大きくなる”に変更することを検討願います。	“大きくなる”に変更します。
111	C 6710	渋谷隆 93	1694	6.5.33.4.1		ED	“確立された”。JIS では能動態を推奨しています。	“確立した”に変更することを検討願います。	「確立した」に修正します。
112	C 6710	渋谷隆 94	1696	6.5.33.4.1		ED	“fmin...fmax”の“...”は、“～”でしょうか。	“～”に変更することを検討願います。	“fmin～fmax”に変更します。
113	C6710	波多腰 15	1716	6.5.33.4.1		ED	$360/2\pi \rightarrow 360/(2\pi)$	$360/2\pi \rightarrow 360/(2\pi)$	$360/(2\pi)$ に修正します。
114	C6710	波多腰 16	1751	6.6.1.3	表 5	ED	しん（芯）線：光ファイバ関係の規格では“芯線”ではなく“心線”を用いているが、それと整合させなくてよいか。		銅線を想定していますので、このままでよいと考えます。他規格で銅線を複数束ねた線のことを“心線”と表記しているようでしたら修正いたします。
115	C 6710	渋谷隆 95	1769	6.6.2.2		ED	JIS C 60068-2-17 では“微小リーク”の用語が用いられています。	微小リークに変更することを検討願います。	“微小リーク”に変更します。
116	C 6710	渋谷隆 96	1777	6.6.3.1		ED	“端子のはんだぬれ性は、溶融はんだに浸すことによって明らかに分かるので、端子のめっきが良好であるかを調べる。” 端子のめっきが良好であるかどうかを調べるのではなく、はんだぬれ性を確認することではんだ付け性の試験を行うと理解できます。	“端子のはんだ付け性試験は、端子を溶融はんだに浸すことによって、はんだぬれ性を確認することで行う。はんだぬれ性は端子のめっき状態に依存する。”に変更するよう検討願います。	提案通りにします。
117	C 6710	渋谷隆 97	1780 1784 1799 1803	6.6.3.1 6.6.3.2		ED	1784 行と同様に、方法 1 の後ろに“（はんだ槽法）”を追記したらどうでしょうか。 1799 行及び 1803 行では“のはんだ槽法”及び“のリフロー法”となっています。表現が統一されていません。	方法 1（はんだ槽法）とするよう変更を検討願います。	提案通りにします。

※コメントの種類

GE = general(一般的)

TE = technical (技術的/専門的)

ED = editorial (JIS 用語/様式)

# JIS 案コメントシート

No.	規格番号	委員名	行番号 (例. 17)	箇条 細分箇条 (例. 3.1)	段落/ 図 / 表 (例. 図 1)	コメントの種類 ※	コメント	変更提案	検討結果・対応案
118	C 6710	渋谷隆 98	1781 1803	6.6.3.1 6.6.3.2		ED	“個別規格に規定がない場合には、浸せき（漬）時間は鉛フリーはんだ合金（例えば、Sn96.5Ag3.0Cu0.5）で使用される 245 °C±5 °C で 3 秒±0.3 秒とする。” 主語と述語が一致していません。	“浸せきする鉛フリーはんだ合金の温度及び浸せき時間は、それぞれ”のように主語と述語を一致するよう変更を検討願います。	個別規格は個別仕様書に修正します。また、次の通り修正します。 6.6.31 a) 「...個別仕様書に規定がない場合、発振器端子の浸せき（漬）時間は,...」 b) 「...個別仕様書に規定がない場合、リフロー温度プロファイルは,...」 6.6.32 a) 「...個別仕様書に規定がない場合、発振器端子の浸せき（漬）時間は,...」 「...個別仕様書に規定がない場合には、発振器を端子の根本から 2mm の所まで浸す。」 b) 「...個別仕様書に規定がない場合、発振器の浸せき（漬）時間は,...」 c) ...個別仕様書に規定がない場合、発振器の浸せき（漬）時間は,...」
119	C 6710	渋谷隆 99	1789 1808 1932	図 63 記号説明 図 64 記号説明 表 11		ED	温度の単位に、°C及びKの両者が使われています。ひとつの図の中、できれば同一規格内ではどちらかに統一するのが望ましいのではないのでしょうか。	°C及びKの統一化を検討願います。	今回はこのままとさせていただきます、再検討し次回改正時に記載の変更を検討します。
120	C 6710	渋谷隆 100	1791	表 9 注 b)		ED	“と定義される。” JIS では能動態を推奨しています。	“と定義する・”に変更を検討願います。	「と定義する」に修正します。
121	C 6710	渋谷隆 101	1795	6.6.3.2		ED	“5 秒±1 秒間”と“間”が付いています。1782 行及び 1805 行では“間”はありません。	表現の統一を検討願います。	「間」を削除し、「5 秒±1 秒」に修正します。
122	C 6710	渋谷隆 102	1817	6.6.5		GE	JIS C 60068-2-14 の試験方法（Na 又は Nb）が規定されていません。	試験方法を規定することを検討願います。	「この試験は、JIS C 60068-2-14 Na によって行う。」に修正します。

※コメントの種類

GE = general(一般的)

TE = technical (技術的/専門的)

ED = editorial (JIS 用語/様式)

# JIS 案コメントシート

No.	規格番号	委員名	行番号 (例. 17)	箇条 細分箇条 (例. 3.1)	段落/ 図 / 表 (例. 図 1)	コメントの種類 ※	コメント	変更提案	検討結果・対応案
123	C 6710	渋谷隆 103	1821	6.6.5		ED	“標準環境状態”は定義されていません。“標準試験条件”の間違いでしょうか。	標準試験条件 (6.2.1) に修正する検討をお願いします。	「6.2.1 標準試験条件に 2 時間以上放置する」に修正します。
124	C 6710	渋谷隆 104	1823 1833	6.6.6 6.6.7.1		ED	“発振器は、個別規格の規定によって取り付ける。”発振器“は目的語だと思います。	“個別規格の規定によって発振器を試験装置に取り付ける。”に修正することを検討願います。	「個別仕様書の規定によって発振器を試験装置に取り付ける。」に修正します。
125	C 6710	渋谷隆 105	1824	6.6.6		TE	印加方向は、±を含め 6 方向ではないのでしょうか。	3 方向で良いのかを再確認願います。	3 方向でよいです
126	C 6710	渋谷隆 106	1840 1844	6.6.7.1 6.6.7.2		ED	“試験時間”、“持続時間”の用語が用いられています。意味は同じでしょうか。	用語の統一を検討願います。	1844 行目を“試験時間”に変更します
127	C 6710	渋谷隆 107	1866	6.6.9		GE	表面実装形の供試品は適用外でしょうか。	適用する発振器があるのであれば、規定を検討願います。	1866～1867 行目を ”発振器は、1 000 mm の高さにつり下げる。” に変更します
128	C 6710	渋谷隆 108	1914	6.6.21		ED	試験後に表示が判読できるかどうかを検査するのではないのでしょうか。	“試験後に”を追記する検討をお願いします。	「試験後に、表示を判読できなければならぬ。」に修正します。
129	C 6710	渋谷隆 109	1924	6.6.23.2		ED	“試験中、温度管理及び周波数測定精度” “試験中の温度管理及び試験中の周波数測定精度”の意味でしょうか。	誤解を与えない表現に変更することを検討願います。	“試験中、温度管理し、周波数測定精度は” に変更します。
130	C 6710	渋谷隆 110	1924	6.6.23.2		ED	“試験中、温度管理及び周波数測定精度は、規定の最大周波数許容差の測定精度に一致させる。” 温度管理についての要求事項がありません。	温度管理の要求事項を追記する、又は“温度管理”を削除する検討をお願いします。	“試験中、温度管理し、周波数測定精度は” に変更します。
131	C 6710	渋谷隆 111	1932	表 11 注記		ED	“注記 MEMS 発振器、電圧制御 MEMS 発振器及び DIXO は、特性によって上記表から選択する。” 要求事項に見えます。	要求事項であれば注にすることを検討願います。	表の発振器タイプにりを追加し、注記を注りに変更し記載します。
132	C 6710	渋谷隆 112	1932	表 11 注 b)		ED	“測定公差”とは測定分解能の意味でしょうか。測定不確かさの意味でしょうか。 測定不確かさの意味であれば、測定不確かさを考慮しても許容温度範囲を満足する必要が あると思います。	適切な用語に変更するよう検討願います。	注りを削除します。

※コメントの種類

GE = general(一般的)

TE = technical (技術的/専門的)

ED = editorial (JIS 用語/様式)

# JIS 案コメントシート

No.	規格番号	委員名	行番号 (例. 17)	箇条 細分箇条 (例. 3.1)	段落/ 図 / 表 (例. 図 1)	コメントの種類 ※	コメント	変更提案	検討結果・対応案
133	C 6710	渋谷隆 113	1934	6.6.23.2		ED	“分割される” JIS では能動態が推奨されます。	“分割する”に変更する検討をお願いします。	「測定間隔は、対数的に分割することが望ましい。」に変更します。
134	C 6710	渋谷隆 114	1937	6.6.23.3		ED	“規定の最高周波数変化” 周波数変化は高い周波数への変化だけを規定するのでしょうか。それとも低周波数への変化量も含めた変化量の絶対値を規定するのでしょうか。	分かりやすい表現に変更することを検討願います。	“規定した最大の周波数変化”に修正します。
135	C 6710	渋谷隆 115	1946	6.6.23.3		ED	“最小二乗近似から決定される定数である。” 能動態の方が好ましいです。	“最小二乗近似で決まる定数である。”に変更することを検討願います。	「最小二乗近似によって決定する定数である。」に修正します。
136	C 6710	渋谷隆 116	1947	6.6.23.3		ED	“単調に変化するエージングについては” “エージング中に周波数が単調に変化する場合” “でしょうか。	“エージング中に周波数が単調に変化する場合”に変更するよう検討願います。	その通りに変更します。
137	C6710	波多腰 17	1967	6.6.23.3		ED	N年 → N年 (N:イタリック)		N年に修正します。
138	C 6710	渋谷隆 117	1973	6.6.23.4		ED	“最大保存温度” 温度は高い低いで表現します。	“最高保存温度”に変更することを検討願います。	その通りに変更します。
139	C6710	波多腰 18	1975 1979 1980 1982 1987 1991 1993	6.6.23.4		ED	TAF は略語であり変数ではないので、イタリックではなく立体に。 もし変数とするなら、記号 1 文字+添字 (e.g. $F_{TA}$ )		立体に修正します。
140	C 6710	渋谷隆 118	1976	6.6.23.4		ED	“デザイン”及び“設計”の用語が用いられています。同じ意味でしょうか。デザインは SAW のパタンの意味など狭い意味でしょうか。	デザイン、設計の用語の統一を検討願います。	1976 行目を“設計”に変更します。
141	C6710	波多腰 19	1983 2183	6.6.23.4		ED	$8.617 \cdot 10^{-5} \rightarrow 8.617 \times 10^{-5}$	$8.617 \cdot 10^{-5} \rightarrow 8.617 \times 10^{-5}$	$8.617 \times 10^{-5}$ に修正します。
142	C 6710	渋谷隆 119	1983	6.6.23.4		ED	温度は K で与えられる。	“温度の単位はケルビン (K) を用いる。” に変更するよう検討願います。	その通りに変更します。

※コメントの種類

GE = general(一般的)

TE = technical (技術的/専門的)

ED = editorial (JIS 用語/様式)



# JIS 案コメントシート

No.	規格番号	委員名	行番号 (例. 17)	箇条 細分箇条 (例. 3.1)	段落/ 図 / 表 (例. 図 1)	コメントの種類 ※	コメント	変更提案	検討結果・対応案
143	C 6710	渋谷隆 120	1986	6.6.23.4		GE	“Eaの観察された値は0.1 eV～1 eVの間であった。” 観察に用いたサンプルのデザイン、生産システムなどをある程度明確にする必要があると思います。	参考文献などを指定する必要があると思います。	経験則の為 ”Eaの値は0.1 eV～1 eVの間になることが多い。” に変更します。
144	C 6710	渋谷隆 121	1999	6.6.23.5		GE	“詳細仕様書” 規格番号が分からないと参照できないと思います。	JIS 又は IEC の規格番号を記載することを検討願います。	”個別仕様書に定める通り”に変更します
145	C 6710	渋谷隆 122	2002	6.6.23.5		ED	“熱衝撃は避ける。” 熱衝撃試験は避けるのか、急激な温度変化を与えてはならないのか、明記する必要があると思います。	“急激な温度変化を与えてはならない”などに変更したらどうでしょうか。	その通りに変更します
146	C 6710	渋谷隆 123	2013 2016	A.1 図 A.1 図 A.2		ED	図の下の3つのダッシュ（－）は注記として記載するのが妥当ではないでしょうか。 それとも図 A.1 とは独立なのでしょう。	3つのダッシュの扱いを再確認の上、適切に修正をお願いします。	次のように、注記に変更します。 注記1 ダイオード D は、1N916 又は 1N3064 タイプである。 注記2 ダイオード Ds は、高速タイプである。 注記3 R1 及び R2 は負荷要件によって決まり、次の式で計算する。
147	C 6710	渋谷隆 124	2026	A.1		ED	次による。の下にあるので、箇条書きとしたらどうでしょうか。	箇条書きとすることを検討願います。	2025 行と 2026 行を次のように修正します。 「R1, R2, CL, VOH 及び VOL, 並びに参考回路については、個別仕様書で規定する。」
148	C 6710	渋谷隆 125	2037	A,3		ED	“50 Ω～VCC－2 V”の“～”の意味は何でしょうか。	50 Ω (VCC－2 V) 又は Vcc-2 V において 50 Ω に修正することを検討願います。	”50 Ω (VCC－2 V) ”に変更します。
149	C 6710	渋谷隆 126	2047	A.4		ED	“好ましい試験回路” JIS で“好ましい”は適切ではないと思います。	“推奨する“に変更することを検討願います。	「推奨する試験回路」に修正します。

※コメントの種類

GE = general(一般的)

TE = technical (技術的/専門的)

ED = editorial (JIS 用語/様式)

# JIS 案コメントシート

No.	規格番号	委員名	行番号 (例. 17)	箇条 細分箇条 (例. 3.1)	段落/ 図 / 表 (例. 図 1)	コメントの種類 ※	コメント	変更提案	検討結果・対応案
150	C 6710	渋谷隆 127	2051	A.4		ED	“発振器出力要求は、250 mV～450 mV の範囲で 100 Ω の試験終端負荷の両端間に差動電圧を生成する平衡電源をもたらす。” 主語と述語の関係が、“要求は電源をもたらす”となりますが、適切でしょうか。	主語と述語の関係を再確認願います。	平衡電源をもたらす⇒平衡出力である。 に変更します。
151	C 6710	渋谷隆 128	2059 2078	B.1 C.1		ED	JIS Z 8301 では定義は箇条 3 で行うことになっています。	“用語の意味“などに変更することを検討願います。	B.1 ラッチアップ に修正します。
152	C 6710	渋谷隆 129	2062 2081	B.1.2 C.1.2		ED	用語の定義だと思えません。	箇条を B.2 試験手順とし、B.3 試験方法と並列にすることを検討願います。 C.1.2 も同様です。	B.2 試験手順、B.3 試験方法と修正します。 C.1 静電気放電 (ESD)、C.2 試験手順、 C.3 試験方法と修正します。
153	C 6710	渋谷隆 130	2088	C.2.2		ED	“リード線端子形”が本文中に使われていません。	リード線端子形に統一することを検討願います。	
154	C 6710	渋谷隆 131	2112	表 D.1		GE	附属書 D は規定です。表 D.1 はデジタルインタフェース水晶発振器が有する最低限の機能のことでしょうか。	必要最低限の機能であれば、表 D.1 の題名をそのように変更することを検討願います。情報であれば、附属書 D を (参考) に変更することを検討願います。	“リード型 (リード線端子形) 発振器”に修正します。
155	C 6710	渋谷隆 132	2115	JA		GE	JA には要求事項を含まないように見えますが、(規定) なのでしょうか。	要求事項を含まないのであれば (参考) とすることを検討願います。	(規定) ⇒ (参考) に変更します。
156	C 6710	渋谷隆 133	2200 他	JC.2		ED	定義と同様に句点なしで表現しているものが多いですが、ここでは句点を用いて複数の文で表現しています。	第 2 文以降は改行して説明文であることをわかるように注記とすることを検討願います。	(規定) ⇒ (参考) に変更します。
157	C 6710	渋谷隆 134	2223 2227 2229 他	参考文献		ED	年号が規定されています。本文中で引用していないので年号は不要だと思います。	年号の削除を検討願います。	第 1 文を句点なしとし、第 2 文以降は改行して注記とします。
158	C 6710	渋谷隆 135	2262	JD 1 2 列目		ED	IEC 60679-1 の下に“2”があります。	削除を検討願います。	ご指摘どおり年号を削除します。
159	C 6710	渋谷隆 136	2262	JD 1 4 列目		GE	“1.2 優先順位に移動した。”は注記 1 の間違いではないでしょうか。	確認し、必要に応じて修正をお願いします。	IEC 60679-1 の箇条 2 を表しておりますので、現行のままでお願いします。

※コメントの種類

GE = general(一般的)

TE = technical (技術的/専門的)

ED = editorial (JIS 用語/様式)

# JIS 案コメントシート

No.	規格 番号	委員名	行番号 (例. 17)	箇条 細分箇条 (例. 3.1)	段落/ 図 / 表 (例. 図 1)	コメン トの種 類 ※	コメント	変更提案	検討結果・対応案
160	C 6710	渋谷隆 137	2262	JD 1 5 列目		GE	優先順位の件及び複数の IEC 規格を対応国際規格としている二つの点が異なります。IEC 改訂時に提案するのは、両者に対してでしょうか。	4 列目の第 1 文と第 2 文のセルを分け、第 5 列に両者が対象なのか、第 1 文が対象なのかを分かるように変更することを検討願います。	ご指摘の通りですので、「注記 1 に移動した。」に修正します。
161	C 6710	渋谷隆 138	2262	JD 2, 4, 6, JA, JB		ED	第 5 列目の記載がありません。対応国際規格の改訂は不要との認識でしょうか。	IEC 改訂時に提案しないのであれば、不要などを記載することを検討願います。	第 1 文だけが IEC 改訂時に提案する対象のため、段落を分けて記載するようにします。

以上